

清正公二十三日夜祭

7/23
19:00-21:00

▲中鶴崎二丁目

切り絵行燈・折り鶴行燈

鶴崎の港で加藤清正公を見送り、お迎えした千灯明をモチーフとした行燈となっています。機械電気工学科 稲川研究室の全面協力による。上質に移り変わる灯をお楽しみください。

▲1970m線

キャンドルアート

イベントのテーマでもある様々な「祈り」をキャンドルに込めました。ゆらめく灯が来場者を静かに迎えます。

鶴崎高等学校

▲別保橋北

卍
法心寺

慶長6年(1601年)
熊本藩主加藤清正公によって建立されたお寺
命日にちなみ、毎年清正公の供養が執り行われる

毛利空桑
記念館

東鶴崎3丁目

ふうりんちようちん

鶴崎の「鶴」をあしらったオリジナルの手提げ提灯が暗い夜道を照らします。先につけた鈴の音が夜風に揺れる夏の風情を引き立てます。

臨時
駐車場

日本文理大学
機械電気工学科 稲川研究室
建築学科 江越研究室・近藤研究室



今回のイベントのテーマは「祈り」としました。清正公への祈り、コロナ終息への祈り、鶴崎の文化継承への祈り... 様々な祈りを灯の中に込めました。



実行委員長
木村優花

私は鶴崎高等学校出身で、当時から二十三日夜祭に親しみがありました。そのお祭りに実行委員の一人として携わらせていただけて大変光栄です。今回のイベントは3本の柱で構成されています。一つ目はキャンドルアートです。祈りを込めたキャンドルを並べて、このお祭りに灯りを吹き込みました。二つ目が行燈です。切り絵行燈では千灯明をモチーフとし、一つ一つ異なる絵柄を作成しています。折り鶴行燈は鶴崎踊りの衣装から着想しました。鶴が光によって羽ばたいていく姿を思い描いています。三つ目はふうりんちようちんです。お寺を歩き交う人の足元を灯します。夜風に揺れる鈴の音と小さな鶴との共演をお楽しみください。新型コロナウイルスの影響もあり、小規模の開催となりますが、来年こそは流行以前のように、人に溢れ活気ある二十三日夜祭となることを心より願っています。

キム スンヒョン
小川 茉莉
二見 翔太
渡邊 新
志方 遥郁
浦田 星奈
玉田 梨那
齋藤 志歩
田原 乃々花
杉尾 一成
末永 梨紗
稲田 優希
八木 千尋
田嶋 瑠衣
木村 優花

清正公二十三夜祭「祈」実行委員会

江越 充
稲川 直裕
近藤 正一
河野 将太郎
有銘 厚治
本村 夏鈴
松浦 優姫
鶴 雄人
廣田 匡喜
廣瀬 大祐
畑野 達也
嶋津 紘平
今満 七海
福田 芳樹
佐々木 新

協力: 鶴崎文化研究会 メカトロニクス応用研究部